

**SSKP** 船橋障害者自立生活センター

59

# うえいぱニュース 2009年7月

〒273-0005 船橋市本町2-4-4 花島ビル1F  
URL: <http://www.cil-funabashi.org/>

TEL: 047-432-4554 / FAX: 047-432-4565  
E-Mail: [cil-funabashi@cil-funabashi.org](mailto:cil-funabashi@cil-funabashi.org)

## 代表のぼやき

未曾有の経済不況が続く中、「障害者」の存在など忘れ去られているような気がしていたら、このところ急に新聞やテレビのニュースなどで「障害者」という言葉を頻繁に耳にするようになりました。一つは、全盲のピアニストが国際コンクールで優勝した話ですが、もう一つは、この機関紙も利用している郵便料金の割引制度の「悪用」を巡る一連の事件がもたらした現象です。



まだ、未解明の部分も多くて、真相は闇の中といった印象が強いのですが、マスコミが伝えるところでは、「悪用」を画策した人が議員を「利用」して厚生労働省を巻き込んだ、という話になっているようです。しかも、話を持ち込まれた厚労省は、当時計画段階にあった自立支援法の成立への「影響」を考えて「悪用」に加担した、というのが、今の時点で伝えられている事件の全体像と言えそうです。

この話がもし本当なら、私たちの毎日の生活の中身を決める重要な法律が「人質」に取られた事になり、さらに郵便料金の割引制度への影響も併せると、莫大な損害を被った事になってしまいます。

徹底した真相究明を望むのはもちろんですが、普通の「障害者」の普通の生活がもっと紹介される世の中になってほしいと思います。

NPO法人 船橋障害者自立生活センター代表 杉井和男

# 定期総会が開かれました

6月7日、本年度の定期総会が船橋市中央公民館で開かれました。代表の挨拶に続いて川島徳人理事を議長に選出して議事を行いました。

議案の主なものは別刷として掲載しましたが、何と言っても、今年度の活動は4月23日に補助金事業として正式に認可を頂いた「福祉作業所WAVE」の運営に重点を置いた形として、軌道に乗せることに全力を傾けることなどが提案されました。また、会員の再登録の作業を行うことなども併せて提案され、すべて原案通り了承されました。

充実した活動が出来るようにスタッフ・役員一同全力で取り組む覚悟ですので、引き続き、皆様のご協力をお願い致します。

## 福祉作業所

### 🌸「WAVE」トピックス🌸

#### アイドルユリちゃん入所

5月1日付けで入所したユリちゃん。初日から、バリアフリー調査に出ることになり、少し面くらっていた。それからも色々な所に出ることになり、大変だったことでしょう。

現地調査が終わってからも、善ちゃんと一緒にデータ入力。本当にお疲れ様。

ユリちゃんこれからもヨロシク！！



まさし

#### バリアフリーガイド入稿間近



善ちゃん、ユリちゃんを含めて、作業所のみんなで、現地調査もデータ入力も頑張りました！！他にボランティアの皆さん、ヘルパーの皆さんの強力な手助けもあり、『船橋バリアフリーガイド第3集』入稿間近です。出来上がりましたら、会員・希望者の皆様にも有料にはなりますが、お配りしたいと思っていますので、もう少しお待ち下さい！！

## 2009年度ピア・カウンセリング集中講座のお知らせ

船橋福祉相談協議会は、船橋市の委託により、障害の種類や程度に関わらず誰でも自分らしい生活が送れることを願って、各種の相談に応じている団体です。

このたび、同協議会の主催により、「ピア・カウンセリング集中講座」を下記の要綱で開催いたします。「ピア・カウンセリングって一体なんだろう」と興味のある人、自立生活をしてみたいと思っている人、私たちと一緒に講座を受けてみませんか。

### ★ピア・カウンセリングとは…

ピアとは、「仲間」を意味し、ここでは障害を持っている者同士がお互いにサポートしあい、自分にとって何が必要かを見つけ出していく作業です。そして、その人の持っている本来の力を取り戻していく作業でもあります。

参加資格は、障害（種類や程度は問いません）を持っていて、ピア・カウンセリングに興味がある方、または自立した生活を地域で始めたいと思っている方ならどなたでも歓迎いたします。

### 開催要綱

☆主 催： 船橋福祉相談協議会

☆実施主体： 特定非営利活動法人 船橋障害者自立生活センター

☆日 程：7月30日（木） 13：00 受付開始

13：30～17：00（会場：女性センター 第一会議室）

7月31日（金） 9：30～17：00（会場：女性センター 第一会議室）

（講座終了後、20：00まで交流会を行います）

8月1日（土） 9：30～12：00（会場：女性センター 第一会議室）

☆定 員：8名（なお、締め切りは、7月20日（月）先着順とさせていただきます）

☆参加費： 無料（交流会以外の飲食費、宿泊費等は各自負担となります）

### \* 宿泊について

宿泊は「船橋第一ホテル」を予定しています。

宿泊料金は、一泊あたり、シングルが6,800円、ツインが12,000円（食事代別）となります。

参加ご希望の方は『参加申込書』に必要事項をご記入の上、下記までお送りください。

### <申し込み先・お問合せ先>

特定非営利活動法人 船橋障害者自立生活センター

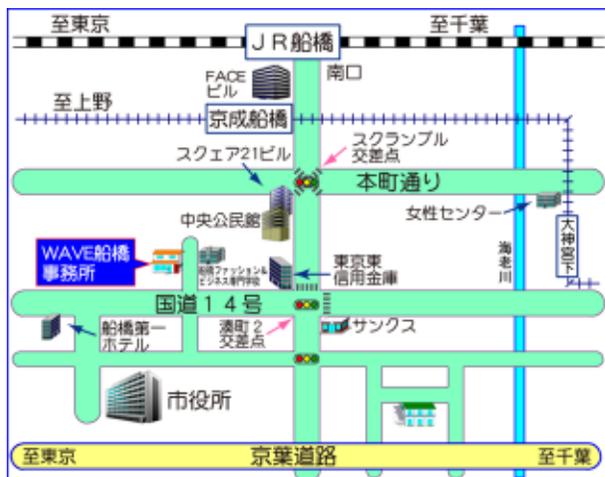
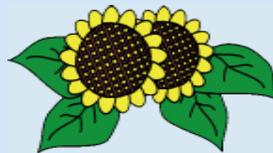
〒273-0005 船橋市本町2-4-4 花鳥ビル1階

Tel：047-432-4554 Fax：047-432-4565

Eメール：cil-funabashi@cil-funabashi.org

## 2009年度 船橋障害者自立生活センター ピア・カウンセリング集中講座プログラム

7 月 3 日	13:30～13:45	さあ始めよう（オリエンテーション）
	13:45～14:45	自己紹介 and 他己紹介
	14:45～15:00	休憩
	15:00～15:30	仲良くなろう（リレーションを作る）
	15:30～15:45	休憩
	15:45～16:45	ピア・カウンセリングって何？
	16:45～17:00	感想
7 月 3 1 日	9:30～ 9:45	良いことあった？（new & goods）
	9:45～11:00	出来ないことなあに？（障害について）
	11:00～11:15	休憩
	11:15～12:00	皆が持っているもの（人間の本質）
	12:00～13:00	昼食・休憩
	13:00～14:30	やってもらうこと！やってあげること（サポートすることされること）！
	14:30～14:45	休憩
	14:45～15:30	つらいことしゃべっちゃおう（抑圧について）
	15:30～15:45	休憩
	15:45～16:45	みんなの前でしゃべっちゃおう（デモンストレーション）
	16:45～17:00	感想
	18:00～20:00	交流会
8 月 1 日	9:30～ 9:45	良いことあった？（new & goods）
	9:45～10:45	何でもしゃべっちゃおう（サポートグループ）
	10:45～11:00	休憩
	11:00～11:45	皆の良い所見つけちゃおう（アプリケーション）
	11:45～12:00	感想



- 女性センター  
〒273-0003 船橋市宮本2-1-4  
TEL : 047-423-0757 FAX : 047-423-3007  
交通  
JR 船橋駅から徒歩約12分  
京成大神宮下駅から徒歩約5分
- 船橋第一ホテル  
〒273-0011 船橋市湊町2-5-18  
TEL : 047-435-9111 FAX : 047-435-9123  
交通  
JR 船橋駅より徒歩約12分  
京成船橋駅より徒歩約5分  
京葉高速道路船橋ICより車で約3分

# バリアフリー調査隊 感想文集

バリアフリー調査に参加していただいた方の中から一部の方々の感想文を掲載します。全員の感想文は小冊子の方に掲載する予定です。

## バリアフリー調査をおこなって

山本明

私たちは過去2回にわたってバリアフリー調査をおこなってきました。調査をおこなうたびに思うことは、街の環境はたしかに整備されてきていますが、でもそれはあくまで健常者が考案した整備であって、障害者、高齢者、こども、こうした社会的に弱い立場にある人たちのために考案されたものではありません。本来ならばこのような弱者を街づくりのベースとすべきです。その上で誰でもが動きやすく、外へ出ることが楽ですむような環境づくりを目指しての街づくりでなければなりません。私たちがおこなうこのバリアフリー調査の目的は、いままでのこうした間違った観念を受け入れることはできない、という熱いメッセージでもあります。

これからもバリアフリー調査は、できる限り私たちは続けていきたいと思えます。どうかよろしくご支援いただければ幸いです。

★★

## バリアフリー調査を終えて

加藤善子

駅、スーパー、銀行、公民館、病院と、いろいろまわった。いろんな人たちと出会った。中でも、東武線や新京成線の駅員さんは、大変なのだと思った。他の駅に応援を頼まないといけな場合もあるようだ。ある日女性二人で行わなくてはならなくなった時があり、何とかせねばと自分なりに動いていた。すると私の携帯が鳴った。所長からの電話だった。心配してかけてきてくれたようだった。私たちには救世主に思えた。合流し一緒に調査をした。なぜかしら安堵感を感じていたのを記憶している。時間的に昼ごろになり皆で昼食、その後はばらけ、それぞれの調査箇所へ。私たちは新京成線の駅を調査し、無事帰社する事が出来た。ほどなくして調査表の入力の開始。自分の字でも解らないのが出てきたりなど、すったもんだのあげく全調査箇所の入力終了。確認作業なども終了間近。どんな本が出来るのか楽しみである。

★★

## バリアフリー調査で大変だった所

塩崎力也

- ロフト： 2階から1階を結ぶスロープが急すぎて、車椅子でも、健常者でも階段を降りているような感覚がして、車椅子は介助者が同行しないと危ないと思った。
- 西部図書館： 階段ばかりで、車椅子の利用は1階のみ。
- ハローワーク船橋： トイレ前に急坂あり。
- 東海神駅： 東西南北が書いてないので、分かりづらい。
- 小室駅： 階段に車椅子用のリフトがあり、出入り口の電話を使って駅員を呼べば、移動できる。
- 生活支援課： 1階にわずかだが、急なスロープあり。

今回バリアフリー調査に参加し、バリアフリーになっている所、いまだに設備が整っていない所が改めてよく分かった。

## バリアフリー調査を行って

山岸百合子

WAVEに通い始めてすぐバリアフリー調査の同行をすることになった。

最初は慣れず、訳がわからないまままだ必死に既に調査を行っている調査メンバーの見よう見真似で、正直必死でした。

バリアフリーというと、段差がなかったりスロープがあったり障害者用トイレが設置さえてあればそれで十分というか、それさえ用意してあればそのデパートなり駅は立派だと思いましたが実際にはそうではありませんでした。

実際車椅子で同行している車椅子の方などが、障害者用のトイレで洗浄ボタンに手を伸ばそうとしても手が届かない、トイレ内で自由に車椅子で回転できないという実態がショックでした。車椅子の方がいかに不自由に日常の何気ない「トイレに行く」という行動でさえ、まさに障害となり不便さを強いられているのか、この調査ををしてみても初めて目の当たりにしました。とてもショックでした。

それに高所恐怖症の私は急勾配の下りエスカレーターを車椅子用エスカレーターで地下の改札にゆっくりと降りていく車椅子の調査員の姿を見て「怖くないかなあ」と内心不安に思いました。もちろん駅員の方も同行してはおられたのですが。

バリアフリー調査の最中で、東葉高速線日大前駅でお昼の休憩を最寄のスーパーの一角で取った時、身体障害者の方が「好きで障害になった訳じゃない」と言っておられました。更に私が悩んでいる自分の病歴を話すと「経験がないのね」とあっさり一言的を得た返事が返って来ました。私はすごく気が楽になりました。カウンセラーにカウンセリングを受けたように感じました。それ位、身体に障害があっても力強さがあつたのです。身体障害者が無力な可哀想な人となんともなく思っていたのが、全然そんな弱くはなく、むしろ精神的に強く、精神障害者の私の方がずっと「なよっちい」と思いました。健常者とは違う、私にはない強さと生きる事のたくましさを持っておられました。

そういったハンディを負っていながらも明るく前向きに地域で生活を送ろうとしている人々に接しられて本当に良かった・楽しかったと思いましたが、他の多くの方々にも、障害者の明るさと生きる事の喜びをかみしめつつ生活している人々を知って頂けたらと思いました。

バリアフリーの調査を行なわせて頂いて大切なのは何か見直す事が出来ました。とても楽しい励まされる活動だった事に心から感謝しています。

★★

## 「障害者自立生活センター」に目が開きました

坂田憲重

ボランティア募集のチラシを見てセンターを訪問してみると、事務所に車椅子に乗られた方が3人おられました。お三方とも今まで近くで時々お見かけしたことのある方ばかりだったのでびっくりしました。

数日間ですが事務所に顔を出したり、あちこちに出かけて手伝ったりしているうちにびっくり度はどんどん増すばかりでした。先ず、車椅子でしか動けず、手も不自由なその方たちがセンター運営の主体となっておられる。

- ②事務所で働いておられる数名の他の方たちもみんな障害者のお見受けする。
- ③ボランティアに応募された人の中にも障害をもたれた方がおられる。
- ④調査は電動車椅子で動かれるその方達が先頭に立って実施され、しかもタフだ。などがその理由です。

そのうちに杉井代表の「自立生活ことはじめ」やMy Funaの福祉リレーコラム（宮尾先生、杉井代表）などを読み、このお三方は、車椅子でしか動けない重度障害の人達が、自分で動ける社会を文字通り切り開いてこられた大変な人たちなのだと知り、感動しました。

人生の大半を能天気なサラリーマンとして過ごしてきた身にとって、かく過酷な運命をもつともせず、自ら社会を変えてこられた方々に思いがけず身近に接しさせていただき、夢のようなボランティア活動でした。

調査に参加した施設の中では西図書館が最悪でした。車椅子の人は利用不可能です。車椅子で生活される人にとっては、とりわけ図書館はお楽しみでしょうに。

★★

### バリアフリーガイド調査に参加して

藤田信行



バリアフリーガイド調査に初めて参加して、いつもなにげなく使っていて、改めて調査という目で見ると使用しやすい所、逆に使用しにくい所も観えてきました。JRの対応は、いきとどいていると思う所もありますが、若干待ち時間が短くなると使いやすいという気がします。私が一番感心しているのは、トイレです。特にJR西船橋のトイレは冷暖房が効いていますのでおどろきました。私たちにとっては、トイレ使用の場合力が入ります。汗をかきます

ので、ズボンの脱着がスムーズにできます。

なお、船橋法典のトイレが分かりにくい所にあります。

市役所西出張所の前の歩道が狭すぎてキケン、電動車イスではムリです。裏入口からスロープで、出入できます。職員の対応は、とても良いと思います。千葉県福祉まちづくり条例適合建築物だそうです

昔にくらべて駅員の対応が良くなりました。

行先連絡もスムーズに対応されています。

希望 トイレの冷暖房は必要です。

★★

### バリアフリー調査に参加して

和田みどり



センターでバリアフリーガイドを何度か作ったことは知っていましたが、積極的に関わったのは、今回が初めてでした。

私の場合、現地調査はほとんど他の皆さんにおまかせして、訪問先のアポイントをとることが、主な仕事でした。飲食店であれば「食事時をはずしてほしい」、銀行であれば「月末はやめてほしい」「15:00以降に来てほしい」、など色々なご希望あり、要領悪い私にとっては、大変な仕事でしたが、外に出て調査している皆さんに比べれば、楽だったと思います。

私もスタッフとして働くことが出来、嬉しく思いました。ありがとうございました。

★★

★★

★★

## 事務局の動き

### 5月

- 13日(水) フェイス相談日  
28日(木) サポートグループ  
監査  
30日(土) 理事会

### 6月

- 2日(火) 認定審査会  
3日(水) 自立支援協議会  
7日(日) 2009年度定期総会  
10日(水) フェイス相談日  
15日(月) 実績報告書提出  
20日(土) 千葉フォーラム実行委員会  
21日(日) 理事会  
26日(金) サポートグループ  
29日(月) 市立特別支援学校生見学  
30日(火) 認定審査会

## カンパのお礼

前号以降、以下の皆様より温かいカンパをいただきました。  
厚くお礼申し上げます。

(順不同)

竹本雅昭様	福元高明様
前田満子様	新垣直子様
吉峯啓晴様	和田恭輔様
山村豊様	山ノ井一教様

## 会費納入のお願い

今年度の会費をまだお支払いいただけていない方、同封の振込用紙をご利用の上、お早めにご納入下さいますようお願いいたします。

年会費は、正会員が3,000円、賛助会員が5,000円、団体が10,000円となっております。

### 同封の振替用紙について

この機関紙には全員の方に郵便振替用紙を同封させていただきました。これは会費、介助料、カンパ（もちろん強制ではありません）などを送っていただく際に、便利のように同封したものです。

なお、納入状況など、ご不明な点は事務局までお問い合わせください。

## 編集後記

すったもんだの末、バリアフリー現地調査が終わりました。ある人は初対面の人に『お米屋さん、トイレ介助お願いします!!』と常人では考えられない言動をし、ある人は、博物館の縦穴式住居に電動車イスでハマリ……。色々ありました。でも、もう少しで本が出来ます。

皆さん待っててネ。

W・M

## 夏休みのお知らせ

事務局では、8月10日から16日まで夏休みとして休業します。



この間の介助派遣などを希望される方はできるだけ早めにご連絡くださいますようお願いいたします。

発行所 東京都世田谷区砧6-26-21  
身体障害者定期刊行物協会  
頒価 100円

（法第28条第1項）

## 2008年度特定非営利活動に係る事業報告書

特定非営利活動法人船橋障害者自立生活センター

### 1. 事業の成果

- (1) 相談支援事業の利用者を増やすなど、新規事業の開拓に力を入れました。  
 (2) 障害者の日常生活、社会参加および就労支援を目的として、地域活動支援センターⅢ型の開設を目指し、行政との調整の結果、障害者福祉作業所として開設することになった。

### 2. 事業の実施に関する事項（特定非営利活動）

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額
①介助者派遣事業	・有料介助を必要とする障害者に介助者を派遣する	適宜	船橋市及びその近隣地域	1日 1～10名	船橋市近隣に居住している障害者及び、介助を必要としている人々	・介助講習開催諸経費 ・資料印刷代 50千円
②ピア・カウンセリング事業	・障害当事者にしかな理解できないカウンセリング事業（短期集中講座、長期講座、公開セミナー、個人ピアカウンセリング）	適宜	船橋市及びその近隣地域	1日 1～20名	船橋市近隣に居住している障害者	・講師謝礼・会場費 ・介助者介助料 170千円
③自立生活技能プログラム実施事業	・自立生活を目指す障害者に体験を通じた自立の為に必要な情報提供	適宜	船橋市及びその近隣地域	1日 1～20名	船橋市近隣に居住している障害者	・ピアカウンセリング事業を含む
④リフトカー等による移動サービス事業	・福祉施設、学校、自宅、病院等の指定場所への移動及びその介助	適宜	船橋市及びその近隣地域	1日 1～10名	船橋市近隣に居住している障害者及び、介助を必要としている人々	・車維持経費 70千円
⑤情報提供等事業	・インターネットによる情報提供 ・機関紙の発行	適宜	船橋市及びその近隣地域	1日 1～20名	船橋市近隣に居住している障害者及び、支援を必要としている人々。障害福祉に関心を持っている人々	・機関紙印刷代 100千円
⑥地域生活支援事業（相談）	・地域生活、日常生活における相談 ・サービス利用計画の作成	常時	船橋市及びその近隣地域	1日 1～10名	船橋市近隣に居住している障害者及び、障害福祉に関心を持っている人々	600千円
⑦地域生活支援事業（日中活動）	一般雇用が困難な障害者に労働と社会参加の機会を作る。	常時 (1.5開所)	船橋市	5名	船橋市近隣に居住している障害者	(含む上記)

「支出額」には、人件費の他、施設維持費（水道光熱費等）・保険代・車両移動費・通信費（電話代・印刷費）等が加算される。

## 2008年度 特定非営利活動に係る事業会計収支計算書

2008年4月1日～2009年3月31日

特定非営利活動法人船橋障害者自立生活センター

(単位：円)

科 目	金 額	
I. 前期繰越額 ①		5,082,772
II. 収入の部		
1. 事業収入		
介助派遣事業収入	99,340	
福祉有償運送事業収入	30,000	
ピアカン事業収入	163,720	
地域生活支援事業収入	99,200	392,260
2. 会費・入会金収入	164,000	164,000
3. 寄付金収入	469,000	469,000
4. 補助金等収入	2,348,000	2,348,000
5. 雑収入	42,458	42,458
6. 受取利息	10,984	10,984
経常収入合計 ②		3,426,702
III. 支出の部		
1. 事業費		
介助派遣事業費	50,280	
福祉有償運送事業費	77,103	
啓発・広報活動事業費	5,310	
地域生活支援事業費	762,666	
ピアカン事業費	10,810	906,169
2. 管理費		
人件費	220,000	
福利厚生費	10,715	
旅費交通費	381,490	
備品費	28,160	
消耗品費	251,850	
賃借料	1,253,750	
通信運搬費	449,510	
水道光熱費	226,892	
保険料	12,600	
諸会費	31,600	
租税公課	1,300	
雑費	6,508	
支払手数料	10,595	
作業所委託金	200,000	
分担金	1,115,000	4,199,970
経常支出合計 ③		5,106,139
経常収支差額 ④ (②-③)		-1,679,437
次期繰越額 ①+④		3,403,335

（法第10条第1項第7号）

## 2009年度特定非営利活動に係る事業計画書

特定非営利活動法人船橋障害者自立生活センター

### 1. 事業実施の方針

特定非営利活動法人 船橋障害者自立生活センターは、船橋市及びその近隣地域において、すべての障害者が自立した生活を営んでいくために事業や活動を行なう。その中心には相談支援、自立生活プログラム及びピア・カウンセリングの実施、障害者福祉作業所の運営、ヘルパー研修、障害者交流、啓蒙活動、障害者問題の調査研究、生活基盤整備運動等の推進がある。

### 2. 事業の実施に関する事項

事業名	事業内容	実施 予定 日時	実施 予定 場所	従事者の 予定人数	受益対象者の範囲 及び予定人数	支出 見込み 額
介助者派遣 事業<5-(2)>	・介助を必要とする障害者に介助者を派遣する	適宜	船橋市 及び その 近隣地 域	1日 1～10名	船橋市近隣に居住している障害者及び、介助を必要としている人々	介助者 派遣事 業 50千円
ピア・カウ ンセリング 事業 <5-(5)>	・障害という同じ背景を持つ者同士が対等な立場でサポートしあうことを学ぶ (公開講座、短期集中講座、長期講座、個人ピアカウンセリング)	適宜	船橋市 及びそ の 近隣地 域	1日 1～20名	船橋市近隣に居住若しくは施設等に同居している障害者	・講師 謝礼 ・会場 費 介助者 介助料 200千 円
地域生活 支援事業	・指定相談支援事業 ・ピアサポート事業 ・バリアフリー調査事業	常時	船橋市 及びそ の 近隣地 域	1～20 名	船橋市近隣に居住している障害者及び、障害福祉に関心を持っている人々	1200千 円
福祉作業 所運営事 業	一般雇用が困難な障害者に労働と社会参加の機会を作る。	常時	船橋市	5～10名	船橋市及び近隣に居住している障害者	9000千 円

「支出見込み額」には、人件費の他、施設維持費（水道光熱費等）・保険代・車両移動費・通信費（電話代・印刷費）等が加算される。

## 2009年度 特定非営利活動法人 船橋障害者自立生活センター予算書

2009年4月1日～2010年3月31日

### 特定非営利活動法人船橋障害者自立生活センター

(単位：円)

科 目	金 額	
前期繰越額 ①		3,403,335
<b>I. 収入の部</b>		
1. 事業収入		
介助派遣事業収入	60,000	
福祉有償輸送事業収入	0	
ピアカン事業収入	150,000	
地域生活支援事業収入	200,000	
福祉作業所運営事業収入	9,116,000	9,526,000
2. 会費・入会金収入	200,000	200,000
3. 寄付金収入	500,000	500,000
4. 補助金等収入	1,500,000	1,500,000
5. 雑収入	50,000	50,000
6. 受取利息	10,000	10,000
当期収入合計 ②		11,786,000
<b>II. 支出の部</b>		
1. 事業費		
介助派遣事業費	50,000	
福祉有償輸送事業費	0	
ヘルパー等養成研修事業費	100,000	
啓発・広報活動事業費	200,000	
地域生活支援事業	900,000	
ピア・カウンセリング事業	200,000	
福祉作業所運営費	8,616,000	10,066,000
2. 管理費		
人件費	300,000	300,000
福利厚生費	100,000	100,000
旅費交通費	300,000	300,000
備品費	100,000	100,000
消耗品費	50,000	50,000
貸借料	250,000	250,000
通信運搬費	100,000	100,000
水道光熱費	50,000	50,000
保険料	30,000	30,000
諸会費	30,000	30,000
租税公課	5,000	5,000
雑費	70,000	70,000
支払手数料	5,000	5,000
寄付金	200,000	200,000
作業所委託金	500,000	500,000
2,090,000		2,090,000
3. 予備費		
予備費	100,000	100,000
当期支出合計 ③		12,256,000
当期収支差額 ④ (②-③)		-470,000
次期繰越額 ①+④		2,933,335



前記の項目で、「2. 介助者はセンターに依頼する」を選択した方にお聞きします。

①介助者を依頼するのは初めてですか？（どちらかに○をしてください）

< 初めて依頼する          依頼した経験がある >

②どのようなサポートが必要ですか？

< トイレ    移動（会場への移動も含めて）    食事    着替え    その他 >

☆トイレの介助が必要な方にお聞きします。必要な介助内容を具体的に書いてください。

☆移動介助が必要な方にお聞きします。必要な介助内容を具体的に書いてください。

☆食事の介助が必要な方にお聞きします。

嚥下（えんげ）障害がありますか？（どちらかに○をしてください）

< ある          ない >

食事介助にはどのような介助が必要ですか？具体的に書いてください

☆「その他」に○をした方にお聞きします。必要な介助内容を具体的に書いてください

\*宿泊の場合の介助者はどのようにしますか？（下のどれかに○をしてください）

介助者は自分で連れてくる          センターに依頼する          介助は必要ない

☆介助者をセンターに依頼する方にお聞きします。どのような介助を希望していますか？  
希望する介助すべてに○をし、必要な介助内容を書いてください。

・講座の会場とホテルの間の移動

・ホテルの部屋での車イスとベッド間の移乗

・食事の介助

・入浴の介助

・その他（

）